第28巻第45号　［宮崎県第45週（11/2～11/8）　全国第44週（10/26～11/1）］　令和8年11月12日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第45週(ARIのみ第44週)の発生動向

□　全数報告の感染症（45 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。
3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例、水痘(入院例)1 例、梅毒 1 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	90歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		日向	90歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	その他	発熱、体重減少、口腔・咽頭潰瘍
	水痘（入院例）	宮崎市	80歳代	女	臨床診断例	発疹
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹
	百日咳	宮崎市	40歳代	女	－	持続する咳、夜間の咳き込み

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 319 人(定点当たり 18.0)で、前週比 83%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、ＲＳウイルス感染症、流行性角結膜炎であった。

また、第 44 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,261 人(定点当たり 46.7)で、前週比 103%とほぼ横ばいであった。

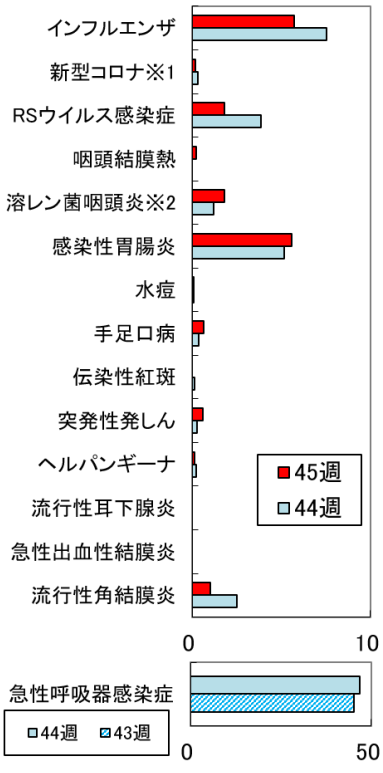
【インフルエンザ】
報告数は 155 人(5.7)で、前週比 76%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.60)の約 9.6 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

【ＲＳウイルス感染症】
報告数は 25 人(1.8)で、前週比 46%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.54)の約 3.3 倍であった。年齢群別は 6 ヵ月から 2 歳が全体の 8 割を占めた。

【感染性胃腸炎】
報告数は 78 人(5.6)で、前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.9)の約 0.6 倍であった。年齢群別は 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

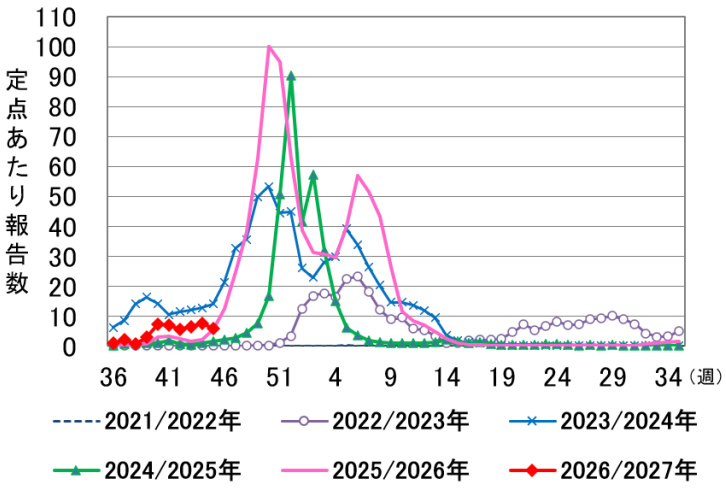
＊　新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

《前週との比較》

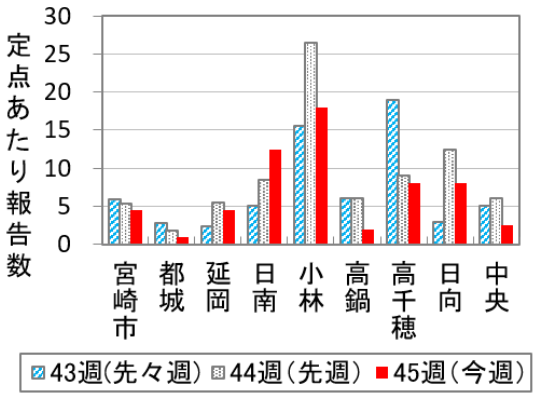


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

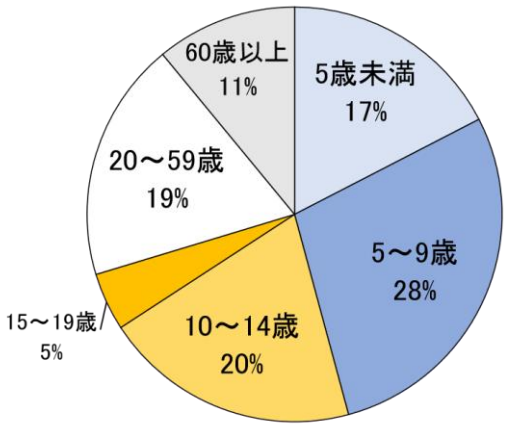
インフルエンザ　発生状況



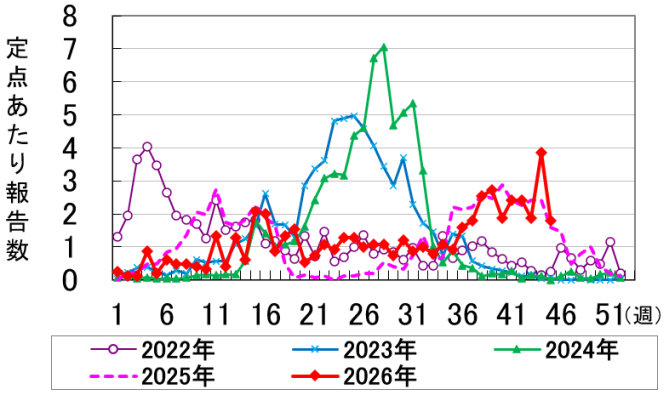
インフルエンザ　保健所別推移（3 週分）



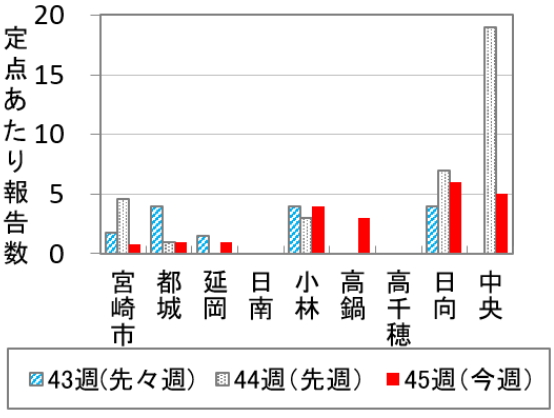
インフルエンザ　年齢群別グラフ（第 45 週）



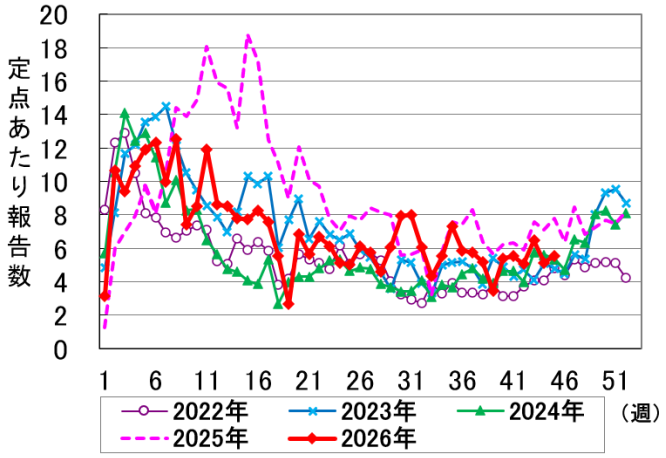
ＲＳウイルス感染症　発生状況



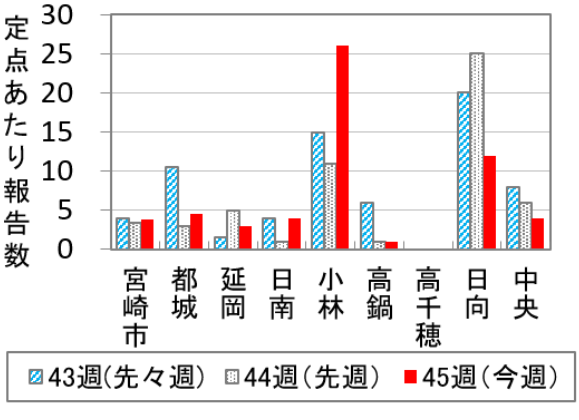
ＲＳウイルス感染症　保健所別推移（3 週分）



感染性胃腸炎　発生状況



感染性胃腸炎　保健所別推移（3 週分）



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 2 例(定点当たり 0.29)で、宮崎市(1 例)、日向(1 例)保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳が 1 例、10～14 歳が 1 例であった。

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	インフルエンザ(12.5)
小林	インフルエンザ(18.0)、感染性胃腸炎(26.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

・感染性胃腸炎(20)

＊流行注意報レベル基準値＊

・インフルエンザ(10)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection：ARI)

（第 44 週:10 月 26 日～11 月 1 日搬入分）

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	1
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		2
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			2
アデノウイルス			0
RSウイルスB型･ライノウイルス･エンテロウイルス			1
検出せず※2			8
受付検体数			15

○　急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1　急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2　左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

（細菌・ウイルスについては 2026 年 11 月 9 日までに検出分）

★細菌

同 定 細 菌 名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	同定日
Salmonella enterica subsp. *enterica* (O4:HUT)	10歳代	男	2026.09.30	発熱、嘔気・嘔吐、腹痛、下痢、血便	便	2026.10.22

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Dengue virus 3	20歳代	男	2026.09.23	デング熱疑い、39℃、頭痛、関節痛、筋肉痛、紅斑、下痢、嘔気、嘔吐	血液	2026.10.30
					尿	2026.10.30
Adeno virus 2	0～4歳	男	2026.09.24	感染性胃腸炎、39℃、下痢(水様便)	便	2026.10.27
Adeno virus 41	5～9歳	男	2026.09.25	感染性胃腸炎、下痢	便	2026.10.30
Rhino virus A	5～9歳	女	2026.09.25	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2026.10.30
Entero virus D68※	40歳代	女	2026.09.01	気管支炎、咽頭痛、痰	鼻腔ぬぐい液	2026.10.29
Coxsackievirus A9※	0～4歳	男	2026.09.07	咽頭炎、38.0℃、結膜炎	鼻汁	2026.10.29
Entero virus D68※	20歳代	男	2026.09.08	上気道炎、38.2℃、咽頭痛、鼻汁	鼻腔ぬぐい液	2026.11.06
Coxsackievirus A9※	0～4歳	女	2026.09.14	急性気管支炎、38.6℃、咽頭炎	鼻汁	2026.11.06

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

全国 2026 年第 44 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし						
2類感染症	結核	234 例					
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	44 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	9 例	エムポックス	4 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	2 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	21 例	日本脳炎	2 例	レジオネラ症	54 例
	レプトスピラ症	2 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	15 例
	急性脳炎	14 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16 例	後天性免疫不全症候群	17 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	29 例	水痘(入院例)	9 例
	多剤耐性緑膿菌感染症	7 例	梅毒	146 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	71 例
	麻しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、ＲＳウイルス感染症で、減少した主な疾患はマイコプラズマ肺炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。

インフルエンザの報告数は 38,205 人(10.3)で前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.48)の約 21.6 倍であった。愛媛県(27.9)、北海道(21.9)、岩手県(17.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

ＲＳウイルス感染症の報告数は 2,784 人(1.2)で前週比 111%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約 1.1 倍であった。島根県(4.8)、宮崎県(3.9)、山口県(3.3)、奈良県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヵ月から 2 歳が全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 1,537 人(0.68)で前週比 96%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.24)の約 2.8 倍であった。富山県(2.1)、静岡県(1.7)、福井県(1.4)、岐阜県(1.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

＊ 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報　（40定点医療機関 ）

2026年 第45週（11月02日～11月08日）

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	203	155	40	4	9	25	36	4	16	16	5
	定点当り	7.52	5.74	4.44	1.00	4.50	12.50	18.00	2.00	8.00	8.00	2.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	8	5	3		1				1		
	定点当り	0.30	0.19	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
RSウイルス感染症	報告数	54	25	4	2	1		4	3		6	5
	定点当り	3.86	1.79	0.80	1.00	1.00	0.00	4.00	3.00	0.00	6.00	5.00
咽頭結膜熱	報告数		3			1			1		1	
	定点当り	0.00	0.21	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	17	25	9	4	1	2	1	3			5
	定点当り	1.21	1.79	1.80	2.00	1.00	2.00	1.00	3.00	0.00	0.00	5.00
感染性胃腸炎	報告数	72	78	19	9	3	4	26	1		12	4
	定点当り	5.14	5.57	3.80	4.50	3.00	4.00	26.00	1.00	0.00	12.00	4.00
水　痘	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.07	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	5	9	7			2					
	定点当り	0.36	0.64	1.40	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	4	8	2	1		3	1				1
	定点当り	0.29	0.57	0.40	0.50	0.00	3.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	2		2							
	定点当り	0.21	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	6	1		5						
	定点当り	2.50	1.00	0.33	0.00	5.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		2	1							1	
	定点当り	0.00	0.29	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第44週（10月26日～11月01日）

		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1267	1261	301	136	137	88	142	64	76	218	99
	定点当り	45.25	46.70	33.44	34.00	68.50	44.00	71.00	32.00	38.00	109.00	49.50

第44週 ～ ARI定点：27、小児科定点：14（ARI定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

第43週　ARI定点：28

●全数把握対象疾患累積報告数（2026年 第01週～45週 保健所受理分）

2類感染症	結 核	115例(3)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	51例					
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	4例	
	つつが虫病	4例	デング熱	1例	日本紅斑熱	16例	
	レジオネラ症	14例	レプトスピラ症	2例			
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	2例	ｶﾙﾊﾞﾍﾟﾈﾑ耐性腸内細菌目細菌感染症	2例	
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	6例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	
	侵襲性肺炎球菌感染症	13例	水痘（入院例）	8例(1)	多剤耐性緑膿菌感染症	4例	
	梅 毒	60例(1)	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例	
	百日咳	58例(1)	麻しん	1例			

（　）内は今週届出分、再掲